

講演の巻

どの回も
お気軽に
ご参加
ください

縄文ファンタジーをつくろう!

茅野市民館いどばた会議

ちのばたつづぎ

茅野市民館 アトリエ

◎時間 19時 ◎入場 無料 ◎定員 50名(申込不要)

2014年
1月31日(金)

第一弾

アートを楽しむ縄文人

講師 小林達雄

考古学者

2月7日(金)

第二弾

「縄文のビーナス」
誕生の地

講師 鵜飼幸雄

茅野市尖石縄文考古館館長

2月20日(木)

第三弾

言葉と文字と、
セリフの関係

講師 西田豊子

劇作家・演出家

ちのばたつづぎ

平成27年10月の
茅野市民館

開館10周年を目指して、
市民が主体となる市民の
作品・表現をつくりあげる
ためのいどばた会議

昨年7月から3回の「ちのばた」では、「茅野といえば」をテーマに市民がイメージを出し合いました。その中で多くの人に共通した言葉が「縄文」と「ハケ岳」でした。普遍的であり、愛着のあるこの2つの題材をもとに、上演する物語を作成します。

皆でつどい、学び、おしゃべりする場が「ちのばたつづぎ」です。

主催＝茅野市民館指定管理者 株式会社地域文化創造

お問合せ [茅野市民館] Tel. 0266-82-8222 〒391-0002 茅野市塚原一丁目1番1号



もっとつながる
もっとひろがる

Design by Yuka Kitahara

茅野市民館いどばた会議

いどばた

会場 = 茅野市民館アトリエ
開場 = 18時30分 開始 = 19時
入場料 = 無料

第1弾
1月31日
金

アートを楽しむ縄文人

内容 縄文の世界観とは



小林 達雄
こばやし たつお
考古学者

宮坂英弐記念尖石縄文文化賞選考委員会委員長。
東京都教育庁文化課、文化庁文化財調査官を経て、1978年國學院大學文学部助教授、85年同教授。
現在は國學院大學名誉教授、新潟県立博物館名誉館長。国際縄文文学協会顧問。
縄文人の世界観から土器文様を読み解くなど従来にない視点をもつ縄文研究の第一人者。

第1弾と第2弾で、
縄文文化全般についての
お話を聞き、第3弾では物語を
つくる基本を身につけます。
ここで学び、話されたことを
もとに、平成26年度は様々な
市民参加型の取り組みが
行われる予定です。

第2弾
2月7日
金

「縄文のビーナス」誕生の地

内容 ハヶ岳縄文文化について



鵜飼 幸雄
うかい ゆきお

茅野市尖石縄文考古館館長

1954年茅野市生まれ。茅野市役所で文化財行政と博物館行政に携わる。茅野市史編纂、「縄文のビーナス」が出土した棚畑遺跡の発掘、尖石遺跡の整備、土偶の国宝指定、尖石縄文考古館の建設などを担当。現在は尖石縄文考古館の運営と、「縄文プロジェクト構想」による縄文をいかしたまちづくりを推進中。

第3弾
2月20日
木

言葉と文字と、セリフの関係

内容 戯曲・台本・シナリオなどといわれる「セリフがあるものがたり」を書くということとは



西田 豊子
にしだ とよこ

劇作家・演出家

1979年「小さな炎のファンタジー」で劇作デビュー、東京都優秀児童演劇賞。
1997年～北海道から沖縄まで各地の公立文化施設にて参加型演劇の監修・演出指導。
2000年～北海道・東京・埼玉・富山の小中学校で演劇・表現教育を監修・創作指導。
2010年～文化庁・児童青少年演劇劇団協同組合主催「劇作講座」主任講師。
2012年～日本大学芸術学部演劇学科にて非常勤講師として演劇教育論を担当。
NPO法人アートイン Asibina 理事長、日本劇作家協会会員。